

# 広島城三の丸歴史館の整備について

令和3年度第4回  
広島城の展示整備に関する懇談会

令和4年3月22日

# 目 次

## <広島城三の丸歴史館の概要>

➤施設整備計画	2
➤展示展開方針	5
➤展示構成	6

## <展示のゾーニングイメージ>

➤1階ゾーニング	11
➤2階ゾーニング	12
➤(参考) 常設・企画展示室の一体利用	13

## <施設の外観イメージ>

➤外観デザインの考え方	15
➤外観イメージ ①	16
➤外観イメージ ②	18
➤外観イメージ ③	20
➤参考「広島城下絵屏風」左隻 (部分)	22

# **広島城三の丸歴史館の概要**

# 施設整備計画

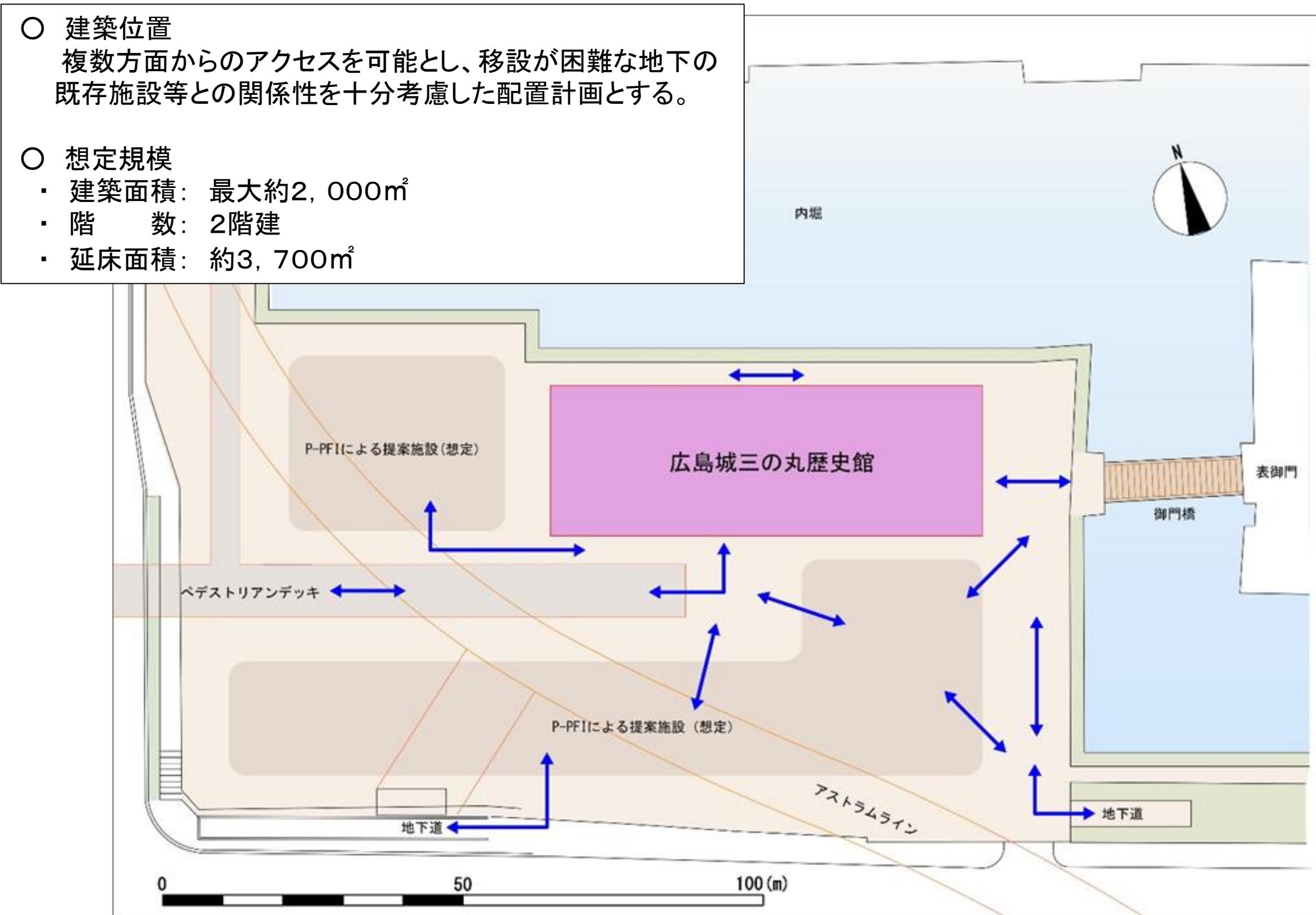
## ○ 建築位置及び施設規模

### ○ 建築位置

複数方面からのアクセスを可能とし、移設が困難な地下の既存施設等との関係性を十分考慮した配置計画とする。

### ○ 想定規模

- ・建築面積：最大約2,000m<sup>2</sup>
- ・階 数：2階建
- ・延床面積：約3,700m<sup>2</sup>



# 施設整備計画

## ○ 諸室及び諸室面積

区分	階	諸室	面積 (単位 m <sup>2</sup> )
展示 エリア	1階	総合ガイダンス展示	280
		体験エリア	
	2階	2階エントランス・ 眺望スペース	140
		常設展示室	
	1階	企画展示室	350
		多目的室	
学習・ 交流 エリア	1階	多目的室準備室	40
		図書閲覧コーナー	
		搬入ヤード	80
収蔵 エリア	1階	搬入 EV ほか	
		荷解室	100
		一時保管庫	
		燻蒸蔵	
		整理作業室	
	2階	一般収蔵庫 前室	50
		特別収蔵庫 前室	
		一般収蔵庫※ <sup>1</sup>	250
		特別収蔵庫	200

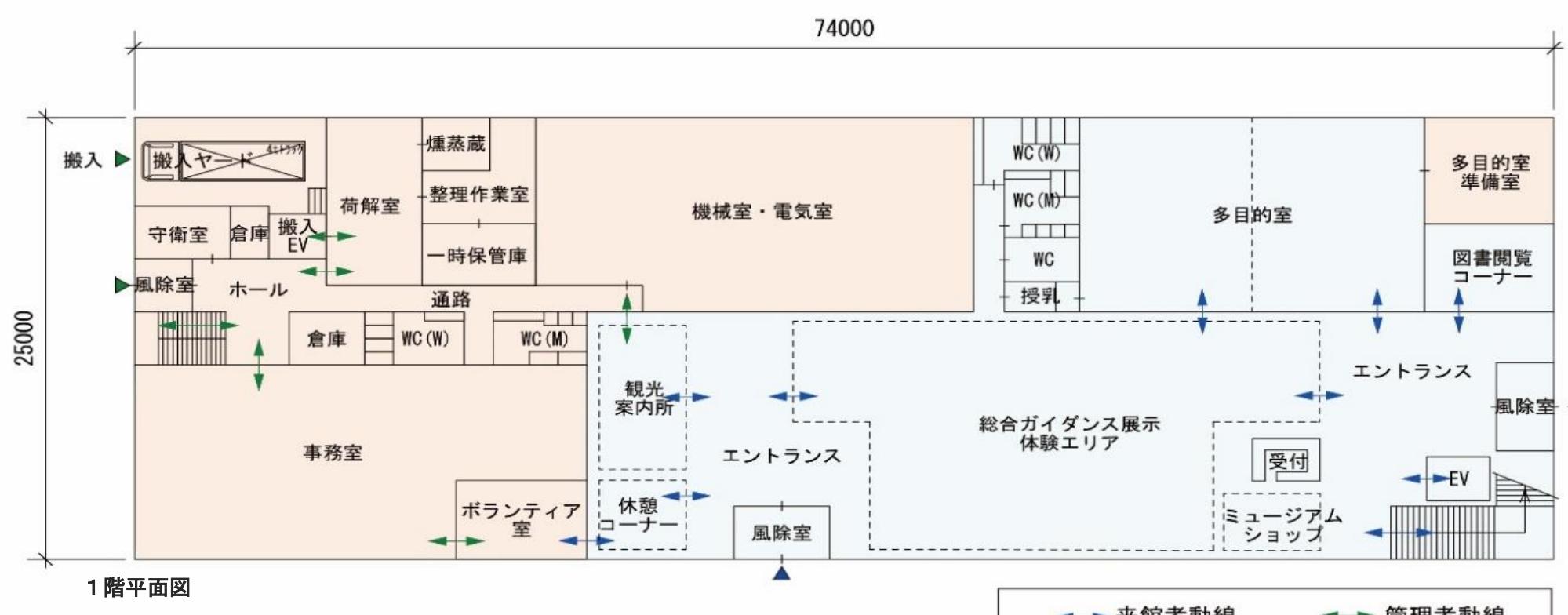
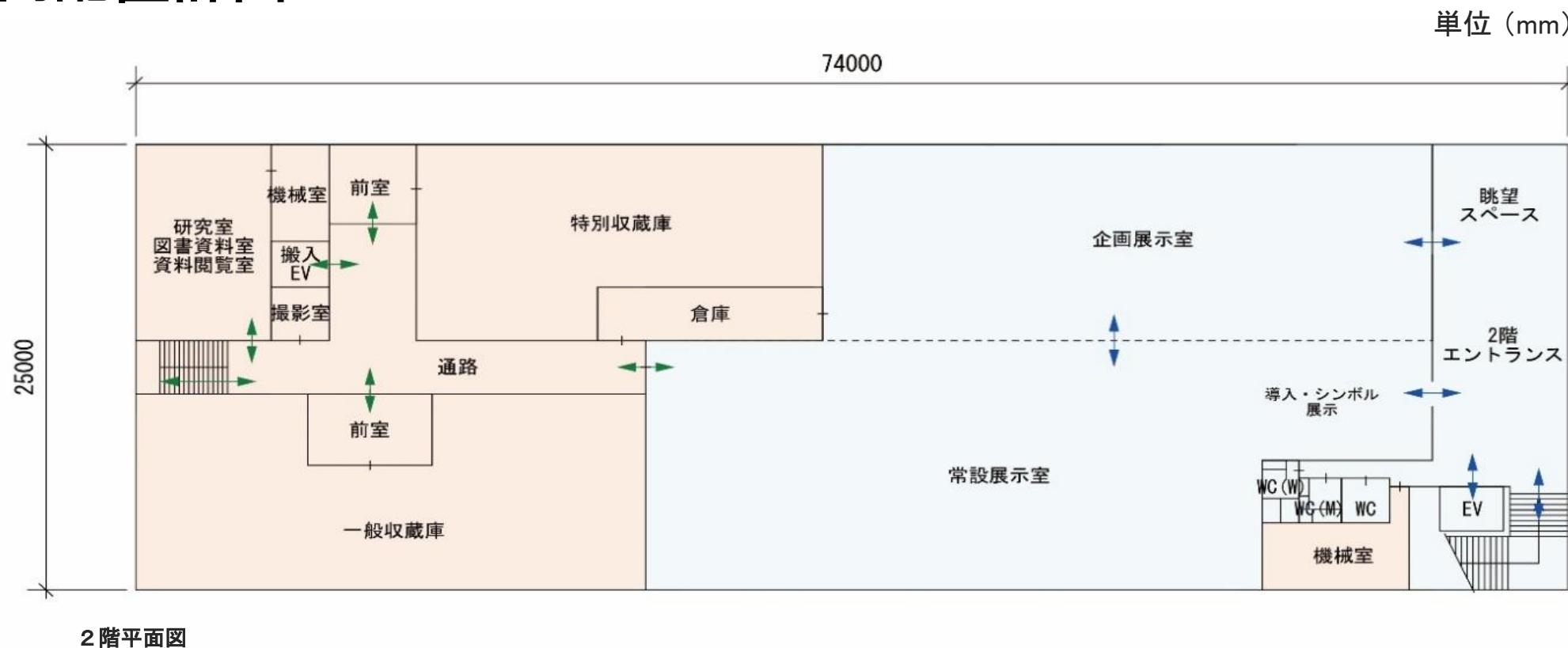
区分	階	諸室	面積 (単位 m <sup>2</sup> )
調査 研究 エリア	2階	研究室（学芸員室）	85
		図書資料室	
		資料閲覧室	
		撮影室	
管理・ 共用 エリア	1階	受付	30
		ミュージアムショップ	
		観光案内所	80
		休憩コーナー	
		事務室	230
	各階	ボランティア室	30
		機械室・電気室等※ <sup>2</sup>	290
		来館者用トイレ等	100
合計			3,700

※1 一般収蔵庫については、床面積以上の収蔵面積を確保するため、中2階を設けることを検討する。

※2 機械室、電気室等については、今後の設計に応じて設置箇所を検討する。

# 施設整備計画

## ○ 施設内配置計画



来館者動線 (Visitor Movement Line)

管理者動線 (Manager Movement Line)

# 展示展開方針

## ○ 広島城全体

三の丸、二の丸、本丸と城内を巡ることで、近世の広島の歴史・文化と広島城の現代に至るまでの歴史を体感できる展示ストーリーを構築する。

## ○ 広島城三の丸歴史館

体験展示で広島の歴史・文化に親しむとともに、資料の持つ魅力に触れる

① 総合ガイダンス展示  
・広島城の縄張を紹介し、その後の資料展示や回遊へつなげる

② 体験エリア  
・映像コンテンツや体験展示を通じて、広島の歴史・文化に触れるきっかけを作る

③ 常設展示  
・収蔵する実物資料を中心として、近世の広島の歴史・文化と広島城の歴史について紹介する

④ 企画展示  
・実物資料を使用した多彩な企画展を開催可能な可変性を持たせる

⑤ 眺望スペース  
・二の丸や本丸南面の見所を実物で確認し、その後の回遊へつなげる

# 展示構成

## ○ フロア構成の考え方

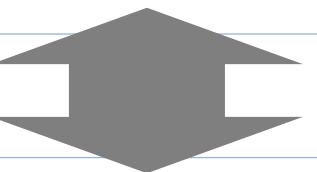
- ・ 1階の展示は、2階の展示や城内外の回遊につなげる総合ガイダンス展示、広島の歴史・文化に触れる映像コンテンツなどを活用した体験展示を行う。
- ・ 2階の展示は、実物資料を中心としながら、近世の広島の歴史・文化と広島城の歴史について体感的に、また深く学ぶことのできる展示を行う。

**2階 近世の広島の歴史・文化と広島城の歴史を体感的に、また深く学ぶ**

常設展示

企画展示

眺望スペース



**1階 城郭「広島城」の大きさを感じ、広島の歴史・文化を体験する**

総合ガイダンス展示

体験エリア

# 展示構成

## ○ 総合ガイダンス展示

- ・ 広島城の中で最初に訪れる場所として、地図や城内模型、タッチモニター等を用いて広島城の縄張などを紹介し、城郭「広島城」の大きさを感じてもらい、常設展示・企画展示への動機付けを行う。
- ・ 各エリアの概要に加え、テーマ別の回遊ルートや、イベント情報等も合わせて紹介し、城内外の回遊を促す。
- ・ 縮景園など近世の広島の歴史・文化を伝える周辺施設等の情報を紹介し、1階に設置を想定している観光案内所との相乗効果を高める。

## ○ 体験エリア

- ・ 体験を通じて、広島城や広島の歴史・文化に触れ、興味を持つためのきっかけを促す場として整備する。
- ・ 実物資料展示は行わず、映像技術の活用や収蔵品・展示に関する体験プログラムを提供する。
- ・ バーチャルでの試着体験などにより、江戸時代の広島の歴史・文化を気軽に体験できる場とする。

# 展示構成

## ○ 常設展示 <導入展示>

常設展示の入口に「導入展示」を設け、常設展示の構成要素や概要などを、映像・模型等を活用しながら、直感的・体感的に捉えてもらうことにより、常設展示（総合展示）への期待感を高める空間とする。

（具体的な展開例）

- ・ 築城から廃藩置県までの歴史で象徴的な出来事を展示
- ・ 築城以前から現代までの広島の変遷を展示
- ・ 城下町や祭礼などの人々のにぎわいを展示
- ・ 総合展示の序章として広島の地勢、風土などを展示

## ○ 常設展示 <総合展示>

複数のテーマの下、展示ストーリーに沿って、近世の広島の歴史・文化と広島城の歴史を体感的に、また深く学ぶことができる展示を展開する。展示に当たっては、展示ストーリーに応じて、実物、映像、模型等を効果的に配置するとともに、可能な限り体験的要素も取り入れる。

（テーマの一例）

- ・ 目玉となる所蔵資料等の展示（広島城下絵屏風、金箔鰐瓦、三の丸屋敷の茶室の再現など）
- ・ 近世の広島の暮らしや文化に関する展示（産業、交通、学問、芸術など）
- ・ 代表的な平城である広島城の特徴に関する展示（縄張、石垣など）
- ・ 築城から現代に至るまでの広島城の歴史に関する展示（毛利氏・福島氏・浅野氏の歴史、原爆と復興など）

# 展示構成

## ○ 常設展示 <テーマ展示>

特定のテーマに基づく展示を行い、所蔵資料を積極的に活用・公開する。展示資料は定期的に更新する。

(テーマの一例)

- ・想定されるテーマは、「武具・刀剣・甲冑」「書画」「工芸」など。

## ○ 企画展示

常設展示の内容を踏まえ、近世の広島の歴史・文化や広島城の歴史をより深く伝えるとともに、これらに関連するテーマを取り上げて企画展示を開催する。

(テーマの一例)

- ・常設展示の内容を補完し、又は深化させたテーマに基づく展示
- ・築城〇年など節目の年を記念して開催する展示
- ・貴重な資料(国宝や重要文化財など)を借用する展示
- ・他の博物館や関係機関等からの借用又は共催・連携による展示
- ・学芸員の研究成果、学術研究の最新成果に基づく展示
- ・漫画やアニメなどのポップカルチャーと連携した企画展示(年1回)

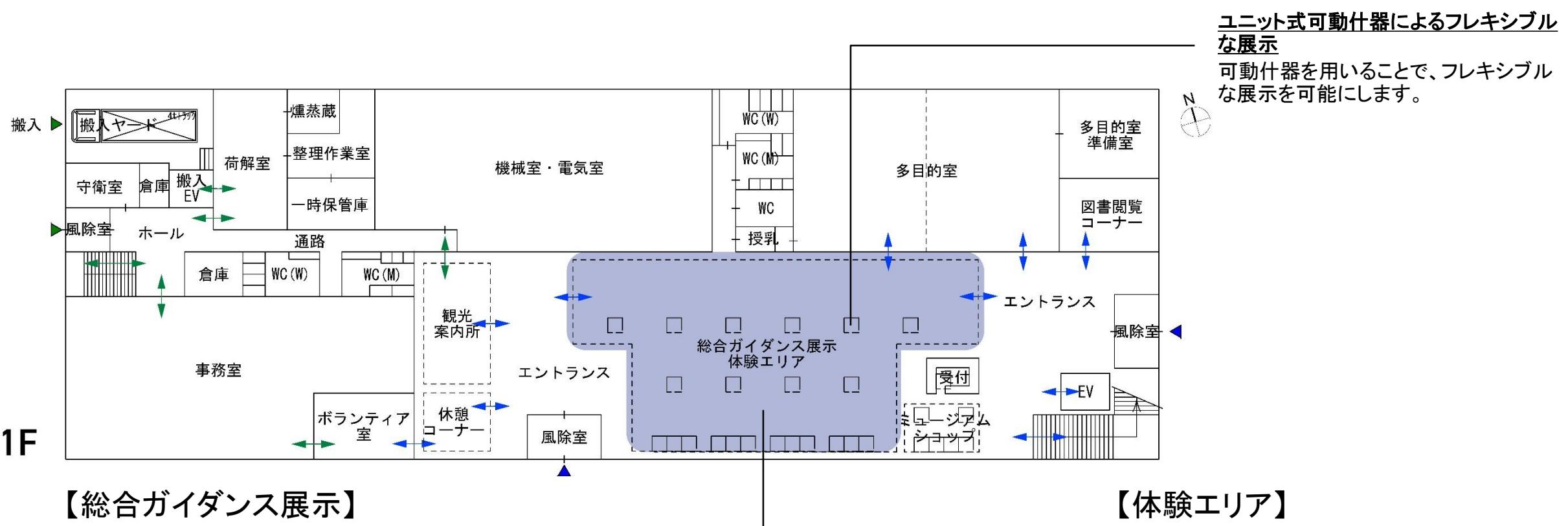
## ○ 眺望スペース

2階からの眺望を生かし、説明パネル等を用いて二の丸や中御門、本丸南面の石垣などの見所を紹介し、その後の回遊を促す場とする。

# 展示のゾーニングイメージ

# 1階 ゾーニング

- 南側エントランス(施設中央付近)から東側エントランス及び2階への階段・エレベーター方向へ来館者を誘導することを意識した総合ガイダンス展示及び体験エリアのゾーニングを行う。



## 展示イメージ①

ジオラマやVR・ARなどを用いて城郭「広島城」の大きさを感じてもらいます。



参考:桜の馬場 城彩苑  
熊本城ミュージアムわくわく座

## 展示イメージ②

観光客や外国人など誰にでも分かりやすいデジタルやインタラクティブな展示手法を取り入れながら、広島城への興味・関心を引き出し、2階の展示室に誘導します。



参考:大野城心のふるさと館

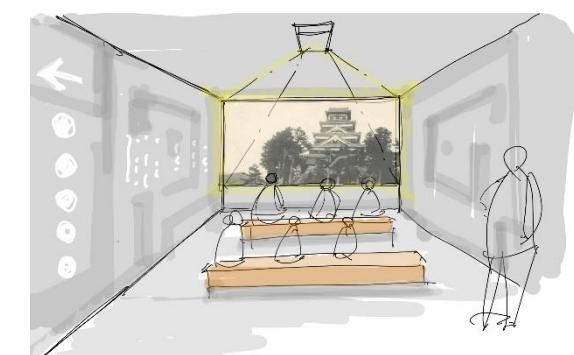
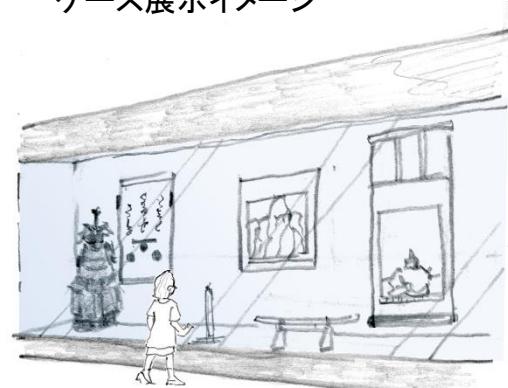
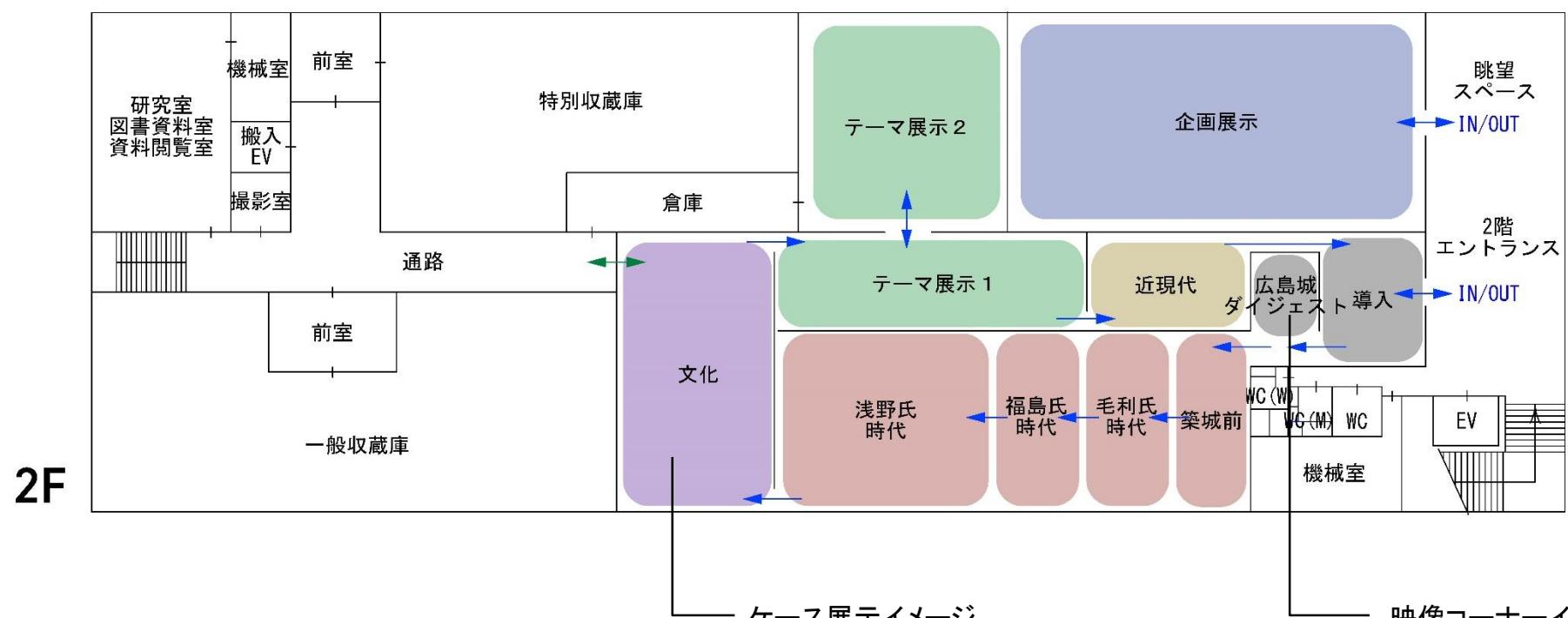
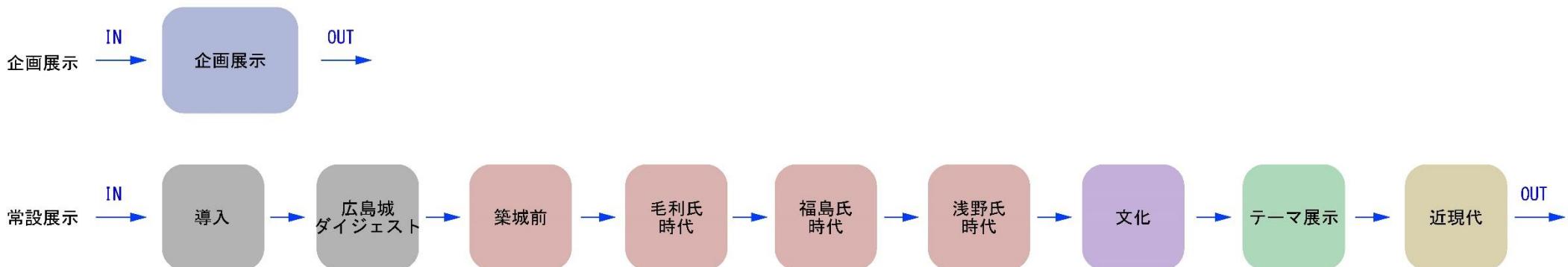
## 展示イメージ③ (なりきり体験)

デジタル技術を活用し、多様なニーズに合わせた体験展示を用意します。広島城らしいコンテンツを用意し、SNSの拡散による広報効果もねらいます。



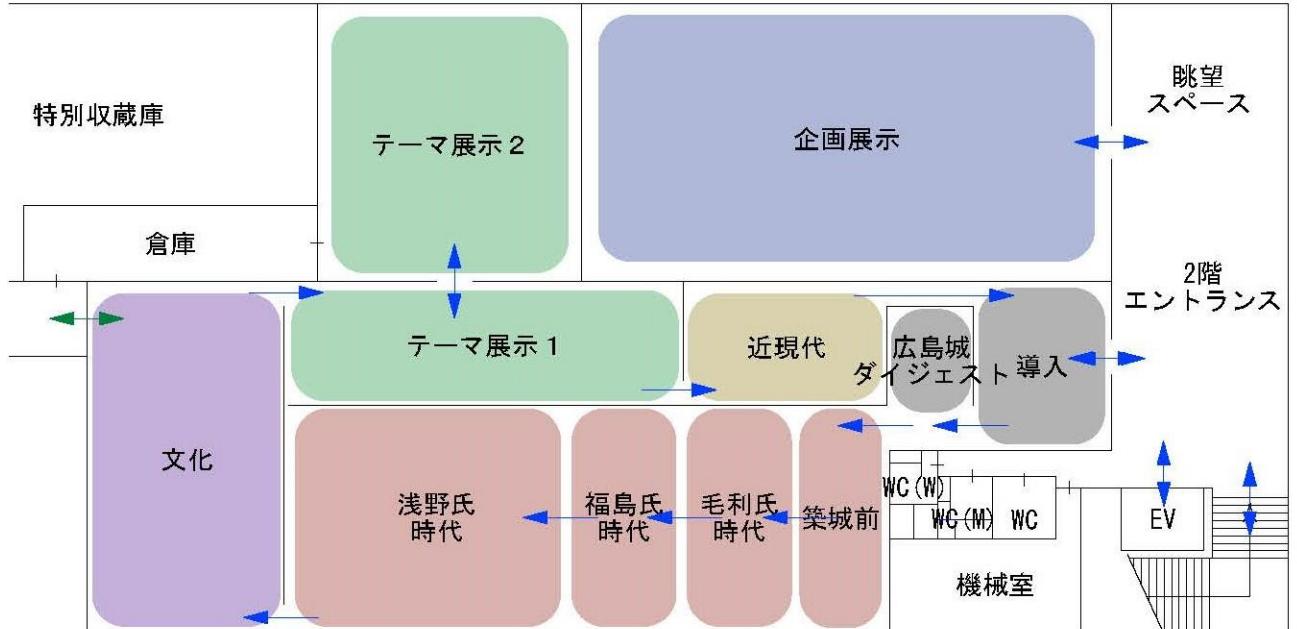
参考:高知県立高知城歴史博物館

# 2階 ゾーニング



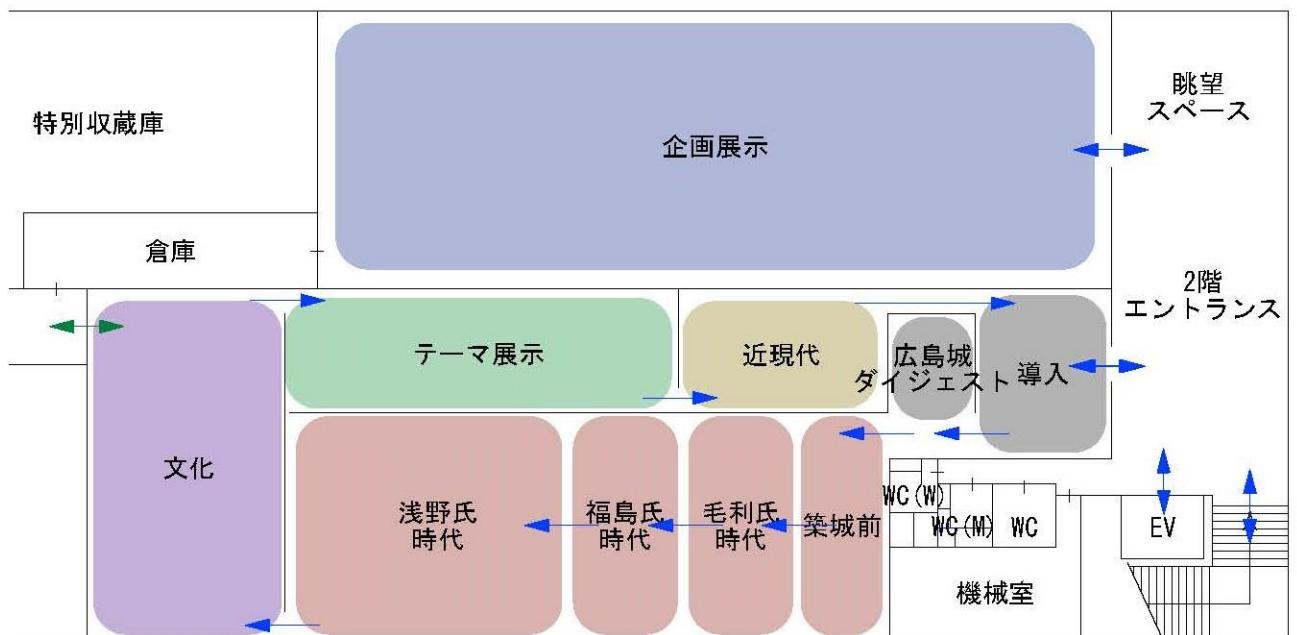
# (参考) 企画・常設展示室の一休利用

a) 基本

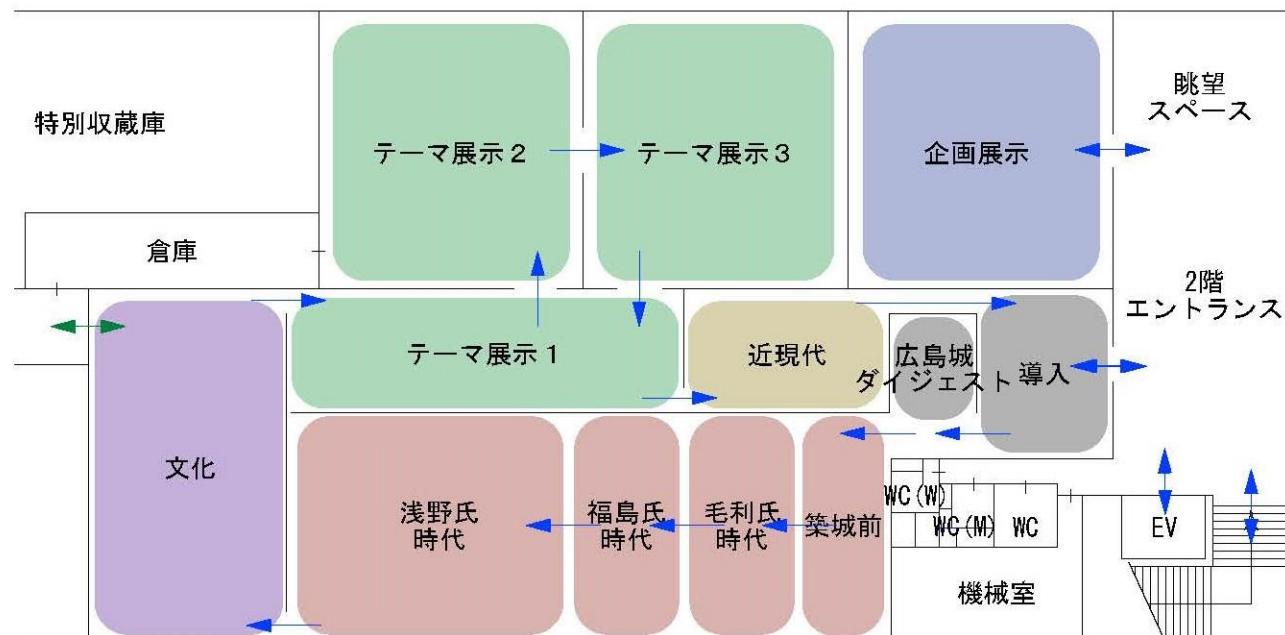


※ 常設展示室と企画展示室の間に可動式の間仕切りを設置し、企画展の規模に応じて、柔軟な利用を可能とする。

b) 企画展示室拡大時



c) 企画展示室縮小時



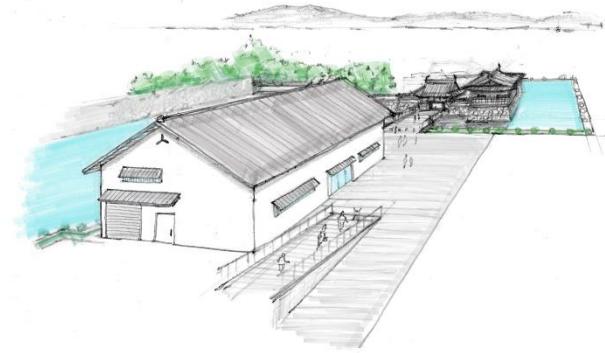
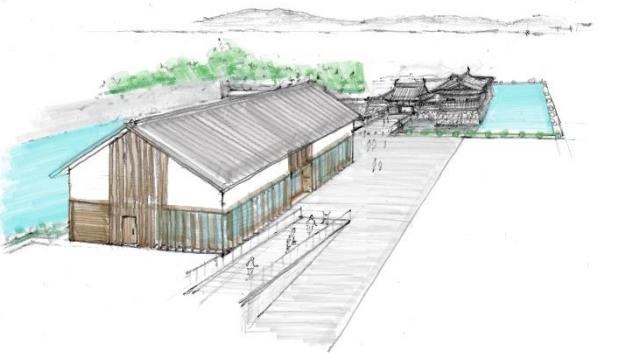
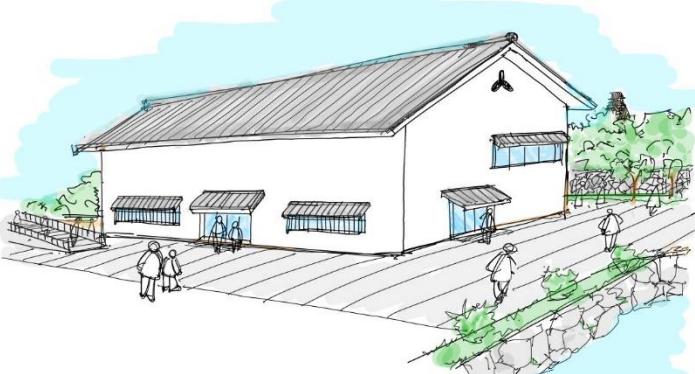
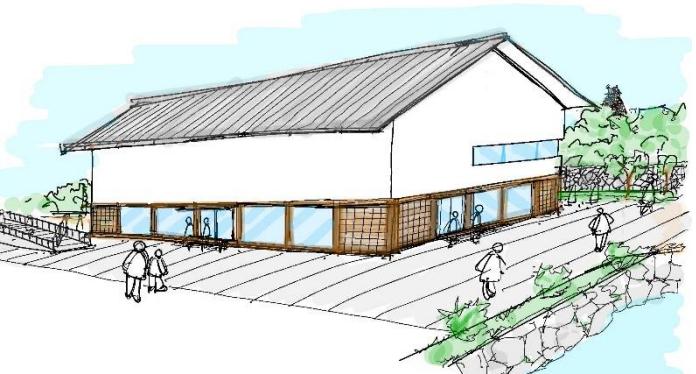
# **施設の外観イメージ**

# 外観デザインの考え方

## ○ 基本的な考え方

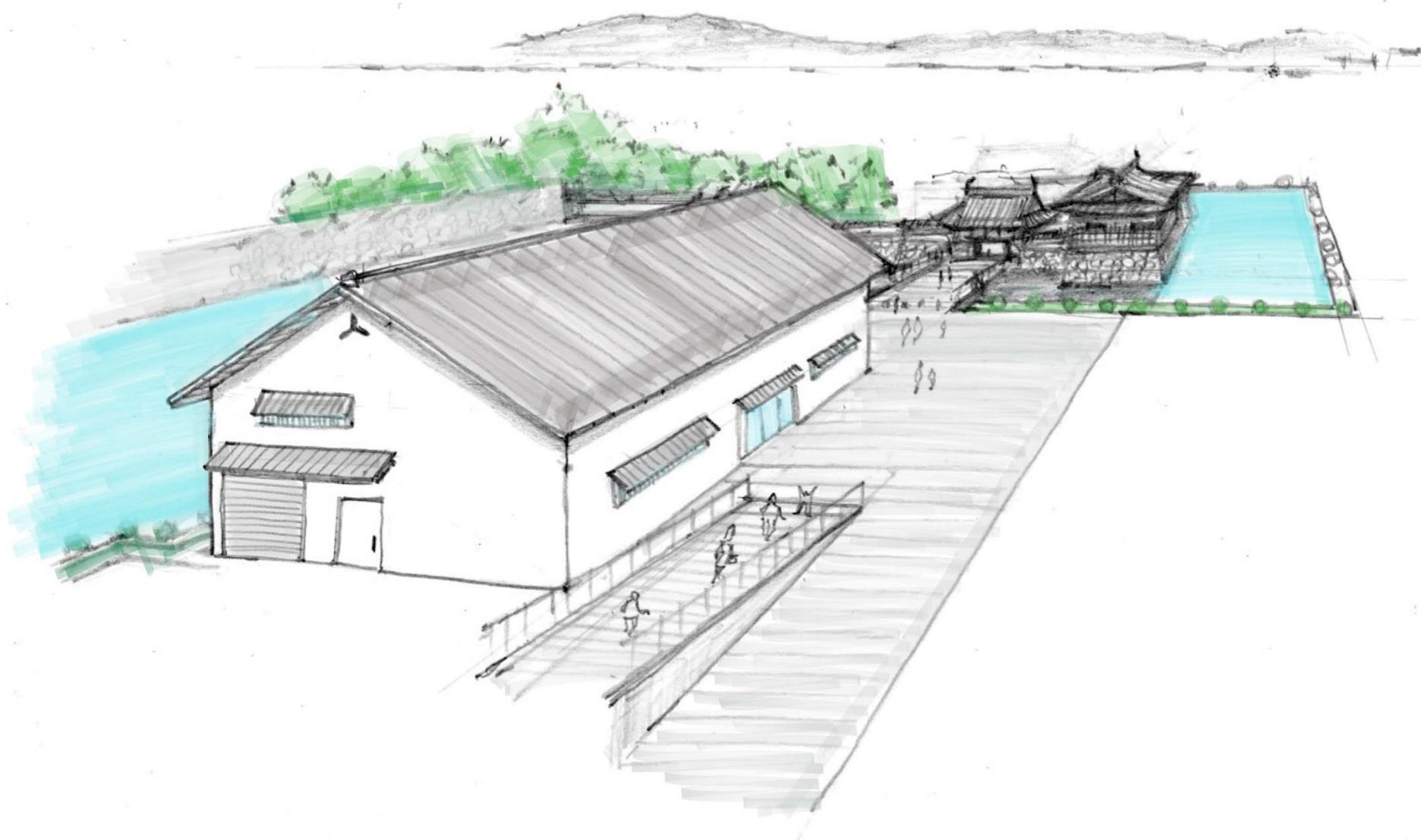
広島城三の丸歴史館は、かつての広島城三の丸に位置し、また、内堀を挟んで隣接する表御門や石垣など周囲景観との調和を図る必要があることなどを踏まえ、階高や屋根形状を含め外観のデザインを検討する必要がある。

## ○ 外観デザインのイメージ

① 江戸時代の御米蔵をモチーフにしたデザイン	② 江戸時代の面影を残しつつ、近代的な要素も取り入れたデザイン	③ ガラスなどの近代的な素材を多く用いたデザイン
		
		

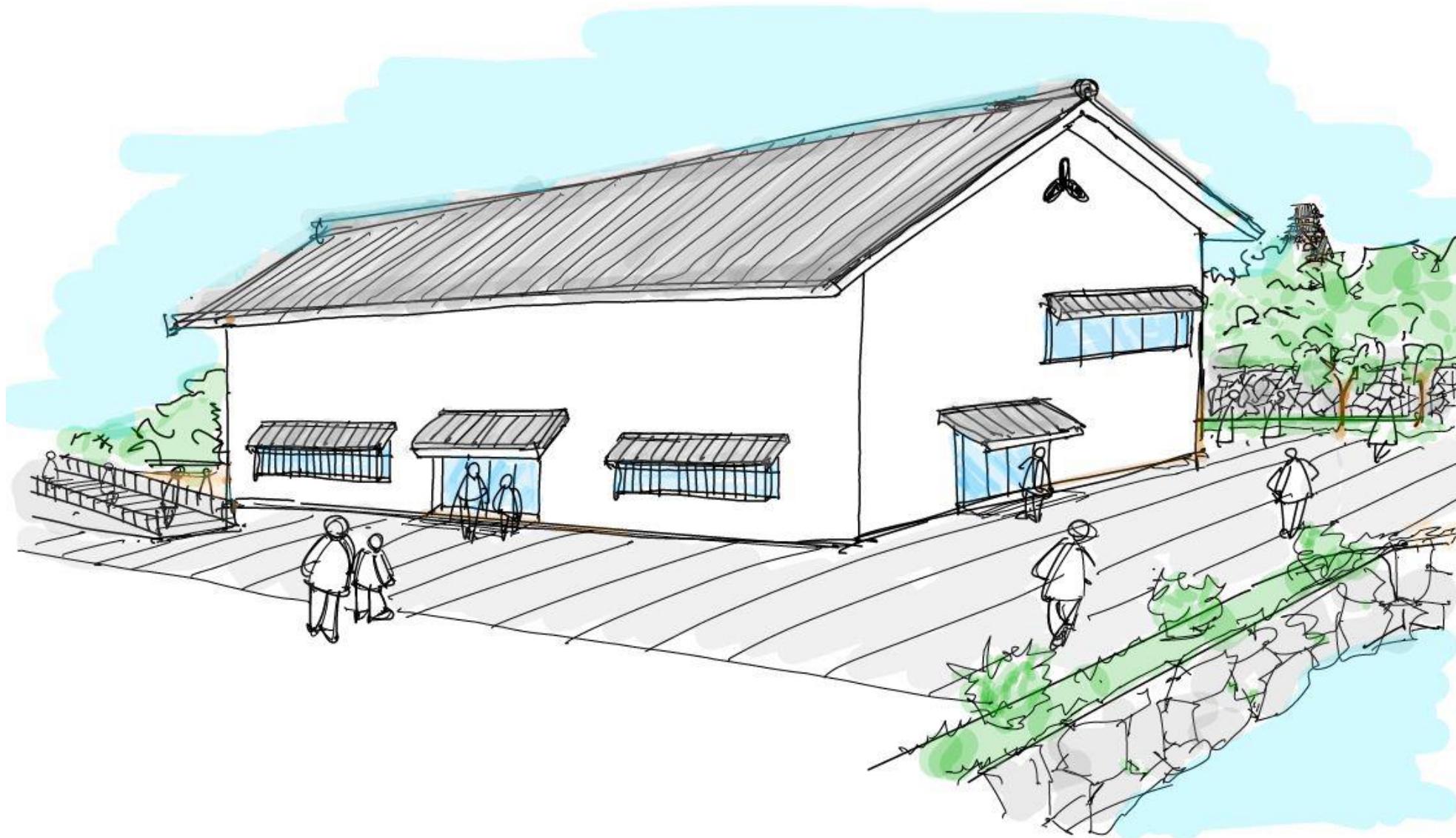
# 外観イメージ ①

○ 江戸時代の御米蔵をモチーフにした案（南西方向）



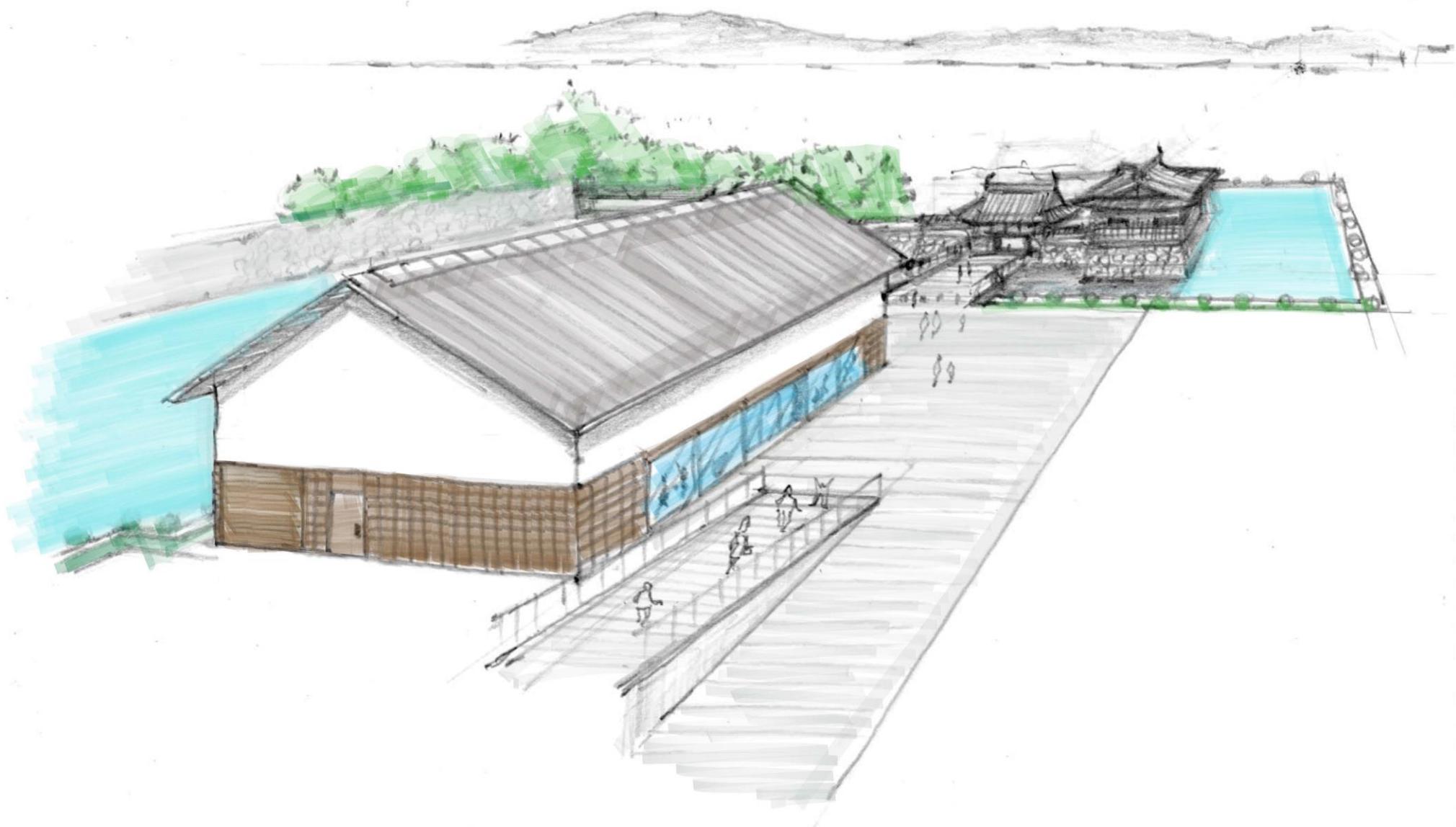
# 外観イメージ ①

- 江戸時代の御米蔵をモチーフにした案(南東方向)



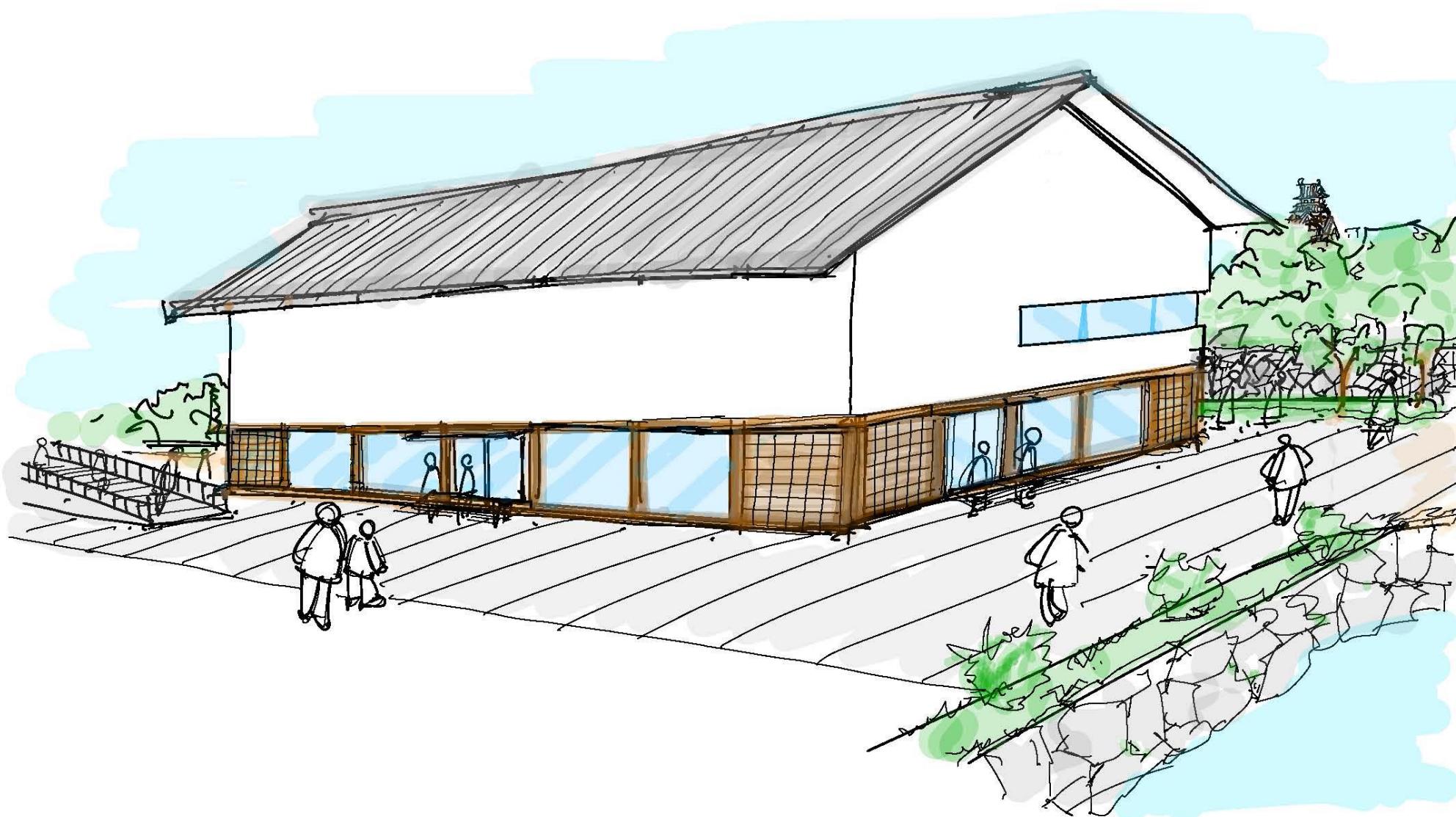
## 外観イメージ ②

- 江戸時代の面影を残しつつ、近代的な要素も取り入れた案(南西方向)



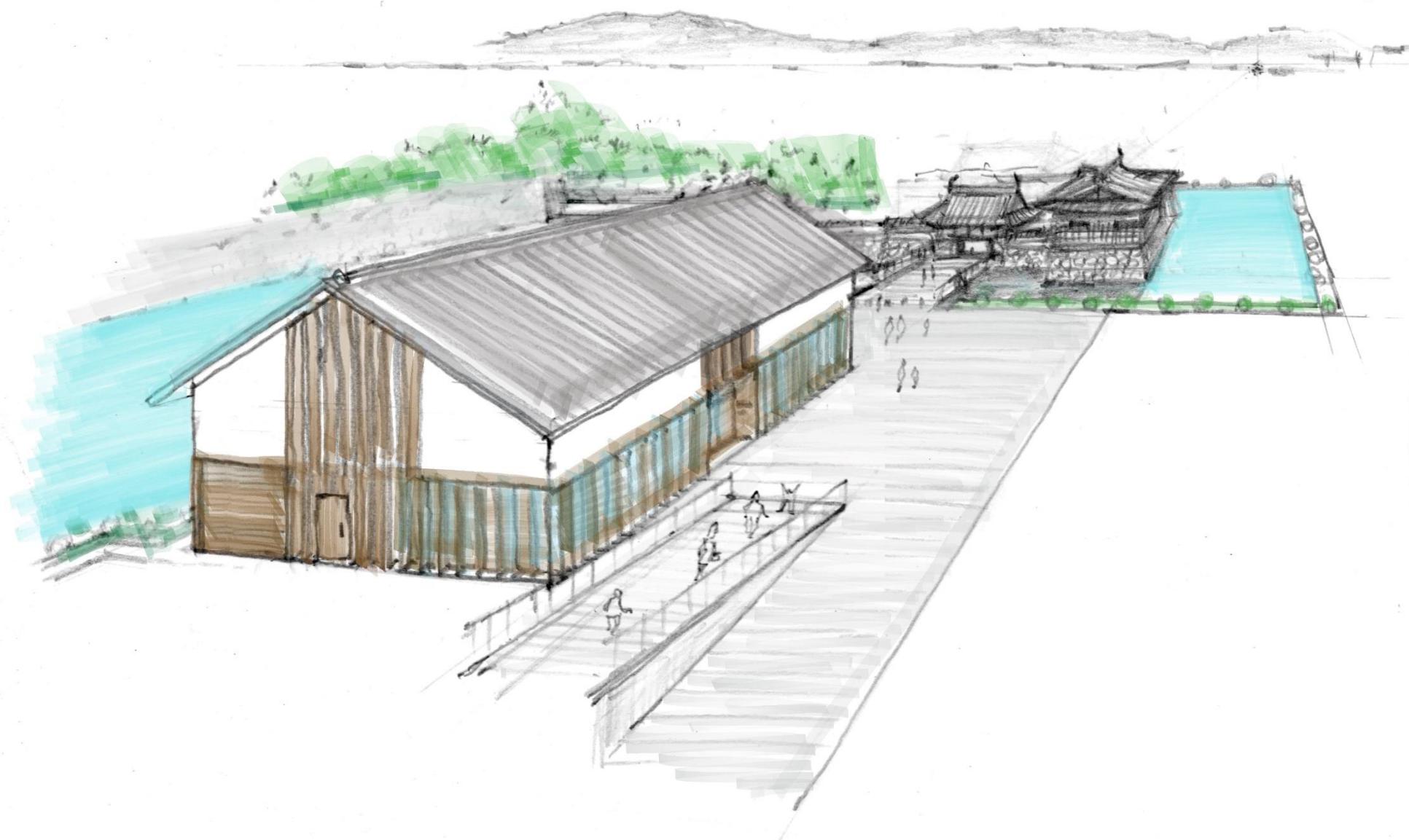
## 外観イメージ ②

- 江戸時代の面影を残しつつ、近代的な要素も取り入れた案(南東方向)



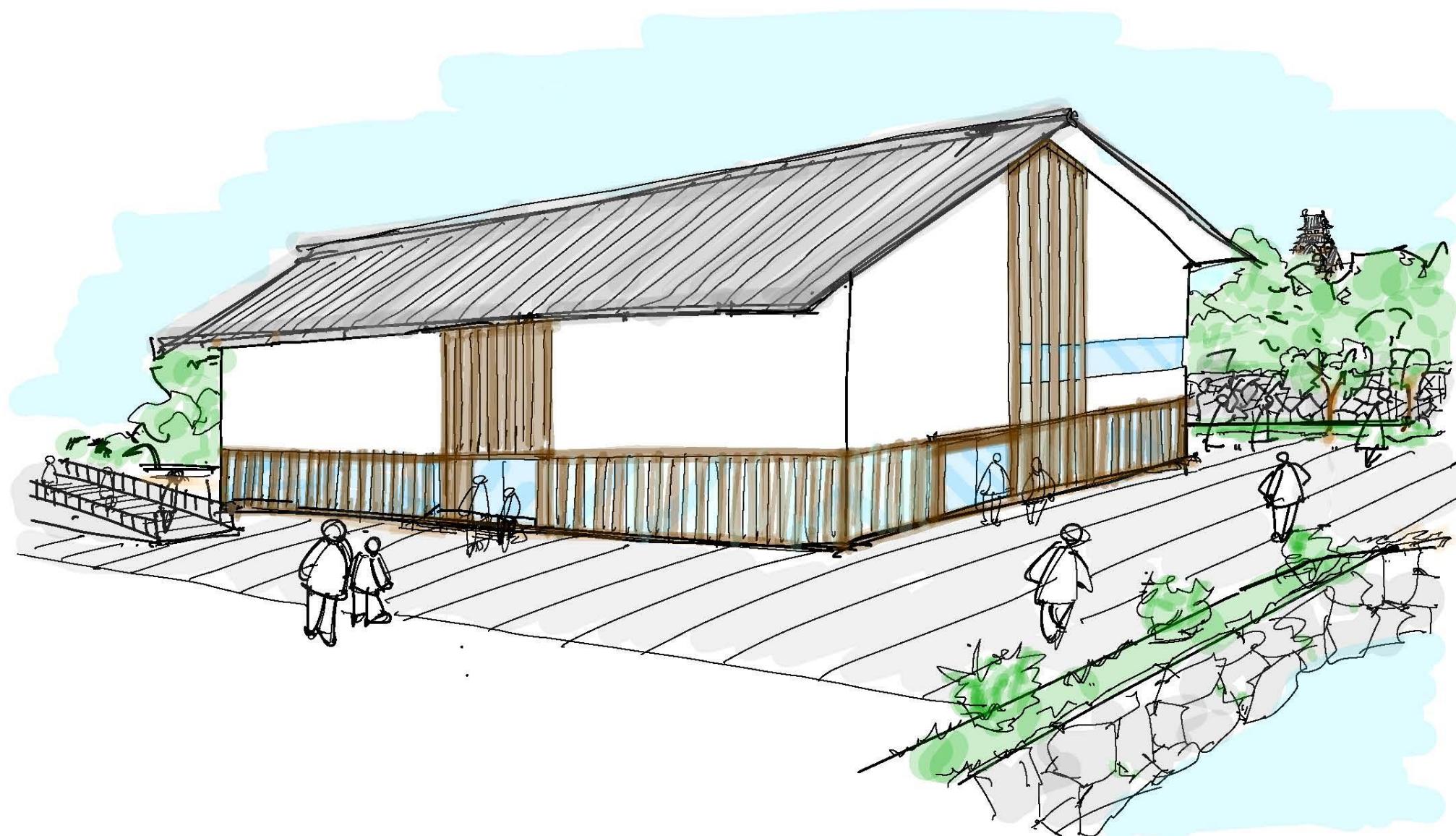
## 外観イメージ ③

○ ガラスなどの近代的な素材を用いた案(南西方向)



## 外観イメージ ③

○ ガラスなどの近代的な素材を用いた案(南東方向)



# 参考「広島城下絵屏風」左隻（部分）

○ 元安橋付近（御米蔵）



所蔵：広島城